

年間授業計画

高等学校 令和8年度

教科

工業

科目 情報テクノロジー

教科：工業 科目：情報テクノロジー

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 2組～3組

教科担当者：(2組：寺地) (3組：寺地)

使用教科書：(自校作成)

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 情報テクノロジー の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報の表し方、論理回路と論理式、フリップフロップ、プログラミングの基礎に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。	情報の表し方、論理回路と論理式、フリップフロップ、プログラミングの基礎に関する課題を見だし、科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身につける。	情報の表し方、論理回路と論理式、フリップフロップ、プログラミングの基礎について意欲的に取り組み、情報技術の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	論理回路と論理式 【知識及び技能】 AND・OR・NOT・NAND・NOR・EX-OR回路の機能を理解し、それらを用いた回路に利用する知識と技術を身につけている。 【思考力、判断力・表現力等】 基本論理回路を用いた応用回路について、論理的に考察し発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 基本論理回路とその応用回路に関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。	・基本的な論理回路 ・組み合わせ回路 ・論理式の簡単化 ・論理回路の設計 ・演算回路	【知識・技能】 定期考査において「知識・技能」が身に付いているかを問い、評価する。 【思考・判断・表現】 定期考査において「思考・判断・表現」が身に付いているかを問い、評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業へ参加し、主体的に取り組んでいるか、提出物を提出しているかを、総合的に判断し評価する。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	論理回路と論理式 【知識及び技能】 AND・OR・NOT・NAND・NOR・EX-OR回路の機能を理解し、それらを用いた回路に利用する知識と技術を身につけている。 【思考力、判断力・表現力等】 基本論理回路を用いた応用回路について、論理的に考察し発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 基本論理回路とその応用回路に関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。	・基本的な論理回路 ・組み合わせ回路 ・論理式の簡単化 ・論理回路の設計 ・演算回路	【知識・技能】 定期考査において「知識・技能」が身に付いているかを問い、評価する。 【思考・判断・表現】 定期考査において「思考・判断・表現」が身に付いているかを問い、評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業へ参加し、主体的に取り組んでいるか、提出物を提出しているかを、総合的に判断し評価する。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	フリップフロップとその応用 【知識及び技能】 基本論理回路やフリップフロップを用いて、半加算回路や全加算回路、シフトレジスタなどを構成する技術を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 RS-FF、JK-FF、T-FF、D-FFの違いを考察し発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 フリップフロップ、カウンタ、シフトレジスタに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。	・フリップフロップ ・フリップフロップの応用	【知識・技能】 定期考査において「知識・技能」が身に付いているかを問い、評価する。 【思考・判断・表現】 定期考査において「思考・判断・表現」が身に付いているかを問い、評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業へ参加し、主体的に取り組んでいるか、提出物を提出しているかを、総合的に判断し評価する。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	プログラミング 【知識及び技能】 プログラムの作成手順を理解し、流れ図を書き、簡単なプログラム作成のための知識と技術を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 流れ図を見て、処理の流れを考察し発表できる。また、プログラムを読んで、出力される結果を考察し発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 プログラムの作成手順流れ図に関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。	・流れ図とプログラムの構造 ・プログラミング ・入出力 ・条件分岐処理 ・繰り返し処理	【知識・技能】 定期考査において「知識・技能」が身に付いているかを問い、評価する。 【思考・判断・表現】 定期考査において「思考・判断・表現」が身に付いているかを問い、評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業へ参加し、主体的に取り組んでいるか、提出物を提出しているかを、総合的に判断し評価する。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	プログラミング 【知識及び技能】 プログラムの作成手順を理解し、流れ図を書き、簡単なプログラム作成のための知識と技術を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 流れ図を見て、処理の流れを考察し発表できる。また、プログラムを読んで、出力される結果を考察し発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 プログラムの作成手順流れ図に関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。	・プログラミング ・配列 ・関数 ・応用問題	【知識・技能】 定期考査において「知識・技能」が身に付いているかを問い、評価する。 【思考・判断・表現】 定期考査において「思考・判断・表現」が身に付いているかを問い、評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業へ参加し、主体的に取り組んでいるか、提出物を提出しているかを、総合的に判断し評価する。	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
							合計 70